



曾木の子

学校便り No. 9

令和4年1月14日(金)発行
伊佐市立 曾木小学校
TEL:25-1152 FAX:25-1162
伊佐市 大口曾木1753番地

ホームページ <http://www5.synapse.ne.jp/es-so/>



新年あけましておめでとうございます

校長 山田 俊也



今年度の冬休みは、17日間という長い期間でした。冬休み期間中も、児童クラブやスポーツ少年団の子どもたちの元気な声が校庭に響き渡っていました。

年が明けてからの始業式、1月11日(火)は、夜中からの雨でとても冷え込み、登校時間帯はまだ薄暗い中、子どもたちは、全員元気にあいさつをしながら登校してくれました。また、3年生に転入生があり、一段と賑やかな教室となりました。



始業式、2年生の森満奨斗さんの発表の一部です。

ぼくの冬休みの思い出は、なわとびをたくさんとんだことです。二じゅうとびをつづけて25回とべました。あやとびの二じゅうとびもすこしとべるようになりました。うちのお手伝いもたくさんできました。ちゃわんあらいや、ふとんたたみもしました。りょうりにもちょうせんして、ハンバーグも作りました。とてもおいしかったです。

冬休みの思い出といえば年末年始の楽しかったことが中心となりやすいのですが、奨斗さんは、運動とお手伝いをがんばったことを発表してくれました。奨斗さんにとっては、縄跳びへの挑戦や料理作りもとても楽しくできたから、このよう思い出になったのかもしれない。

「自己を見つめる」、「自分を振り返る」ということは、子どもにとってはとても難しいことです。ましてや、振り返ってみて新たに目標を立てることもです。

学校では、来年度の教育課程(年間の行事計画、学習内容の時数配分等の計画)を検討しているところです。行事については、その都度の反省を集約して、一工夫・一改善などして計画を立てていきます。

また、今年度内には、校内のインターネット回線の高速・大容量化、教育支援ソフトの導入、タブレット端末の安定的な動作環境構築なども進めていきます。

今回のGIGAスクール構想に関して、学校が意識してきたことは、「端末が導入されたら、ソフトがインストールされたら、高速回線になったら」ではなく、「今のうちからできることがあれば進めていく」ということでした。

新型コロナウイルスが日本でも流行するようになってから、2年が経過しようとしています。たとえ空振りとなっても、今できることを何かを考え、一歩先に進んだ行動をしていく今年にしていきたいと思います。

むし歯治療は進んでいるでしょうか?また、毎朝の健康状況チェック、登校時からのマスク着用、帰宅後の手洗い、うがいにも確実に定着させてください。